



学校再開に向けて

～新型コロナウイルス感染が終息し、早く社会が収束することを望みます～

校長 大橋 良人

日本政府の緊急事態宣言が5月7日から1ヶ月程度延長されました。それに伴い滋賀県も新型コロナ感染防止の観点から不要不急の外出や「3密」を伴うものは自粛の延長を要請されました。また、東近江市内の公立の小中学校も臨時休校が5月31日(日)まで延長されました。

緊急事態宣言も1ヶ月程度延長されましたが、今後新型コロナウイルス感染の収束状況を踏まえて、日本政府は14日以降1ヶ月を待たずして解除することもあり得ると発表しています。

滋賀県知事も日本政府と同様に5月11日(月)以降、自粛要請の解除を早める可能性があることを示唆しています。県立学校においては、臨時休校中の登校日を設けると伝えています。東近江市教育委員会も市内の新型コロナウイルス感染の収束状況や子どもたちの学習状況等を踏まえて、臨時休校中の登校日を設ける決定がなされました。学校としては、以下の通り、週1日の地区ごとの分散登校をすることとしました。登校日には、子どもたちの健康状態や家庭での過ごし方、そして課題の確認等の学習を実施したいと考えています。学校再開に向け子どもたちの生活リズムを、少しでも学校生活のリズムに近づけていければと思っています。

新型コロナ感染が収束し6月から学校が再開されても、通常通りの学校に戻るのには少し時間を要します。年度当初1学期に予定していた行事等は延期もしくは中止としております。学校が再開され次第行事の見直しを図り児童・保護者・地域の方へお知らせいたします。

【休校中の登校日について】

学校では、6月1日の学校再開に向け、5月18日から29日まで、週1日の学校登校日を下記の通り予定しています。登校日には、児童の健康状態、心のケア、課題学習の状況を確認いたします。短時間ではありますが、子どもたちの笑顔を見られることを学校職員全員が楽しみにしております。学校登校日は地区ごとに分けて設けております。下記の日時をご確認ください。また、登校は、各登校班で密接にならないよう1列に並んで歩くようにしてください。

5月21日・5月28(木) 8:20~10:00 (完全下校)

中里、読合堂、北花沢、南花沢、大沢、平松、下里B

5月22日・5月29日(金) 8:20~10:00 (完全下校)

祇園、平柳、湯屋、今在家、小八木、僧坊、下里A

*持ち物等については、各担任から連絡いたします。

臨時預かり

令和2年5月18日(月)から学童保育所による預かりに移行されます。



新型コロナウイルスは「収束?」「終息?」

○デジタル大辞泉によると…

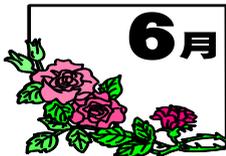
「収束」は「分裂・混乱していたものが、まとまって収まりがつくこと。また、収まりをつけること。」

「終息」は「物事が終わって、やむこと。」だそうです。

○使い分けは…

「収束」はコロナがひとまず落ち着く状態をさし、「終息」は新型コロナウイルスが完全になくなる状態をさすようです。

*どちらの漢字を使っても間違いではないようです。



行事予定

取り消し線がしてあるものは、延期もしくは中止となったものです。学校再開後行事の見直しを図り改めて連絡をいたします。ご理解いただきますようお願いいたします。

1日(月)	学校再開	振替休業(運動会)
4日(木)	検尿	プール掃除
8日(月)	給食開始(全校)	身体測定5・6年生
10日(水)	身体測定	3・4年生
11日(木)	身体測定	1・2年生 委員会活動
12日(金)	PTA研修部会 19:30~	PTA評議委員会 19:30~ プール開き
15日(月)	安全点検	交通立哨 学習参観⑥ スクールガード講習会
17日(水)	新体カテスト(全校)	
25日(木)	クラブ活動	集金日 PTA地区別懇談会
26日(金)		PTA地区別懇談会

6月1日(月)~5日(金)
1週目の5日間は、3校時終了後、
下校いたします。給食はありません。

【今後の対応等について】

東近江市教育委員会から今後の教育活動について、別紙の通り連絡がありました。今後新型コロナウイルス感染の状況により変更が生じる場合があるかもしれませんが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。

今後の対応について

- ・再開予定日 令和2年 6月 1日(月) 全員登校
- ・学校給食 令和2年 6月 8日(月) から
- ・夏季休業期間 令和2年 8月 1日(土) から17日(月)
- ・冬季休業期間 令和2年12月26日(土) から令和3年1月3日(日)

新年度が始まり2ヶ月近くが過ぎようとしています。「学びの保障」等について、いろいろな立場で様々な意見が報道されています。休校中、不安なのは、子どもたちであり保護者や地域の方々であろうかと思えます。大切なお子様を預かる学校教職員としては、目の前にいる子どもたちに何がしてあげられるのかを常に考えています。しかし、今、子どもたちにとって大切なのは子ども同士のふれあいではないかと思えます。湖東地区の3つの小学校が連携し合いながら、課題の出し方などを検討し、単学級での難しさを克服する努力もしていますが、やはり学校再開を一番待ち望んでいます。

先日、ネット環境についてのアンケートを実施いたしました。その結果、各家庭においてネット環境はほぼ整備されている状況でしたが、子どもが端末機を自由に使用できる環境にあるのは、本校では50%程度という結果でした。文科省や県教委では、オンライン授業やホームページの活用を唱えています、なかなか難しい状況にあります。私立学校ではオンライン授業を実施され、学力格差が広がるのではないかと報道されています。

本校では、なかなか厳しいネット環境ではありますが、少しでも子どもたちの学習に役立つと考えネット配信等にも意欲的に取り組んでいます。端末機が整備されている私立学校のようにはいきませんが、子どもたちの「学びの保障」につながればと考えています。ただ、中にはネット環境が整っていない家庭では不公平感を感じられる方もおられるでしょう。そこは、プリント学習や学校再開後の学習で補い不利益が生じないように細心の注意を払っていきます。このことについて、ご意見・ご質問があれば遠慮なく学校までお問い合わせください。新型コロナウイルスが終息し、今の苦しい状況を乗り越えればきっと楽しい学校生活を送れると信じ、保護者地域の方とともに頑張っています。